

PROGRAM NOTE

2015 年 11 月

心なごませる古楽器チェンバロ チェンバリスト 西田和美

チェンバロ（英語名ハープシコード）という楽器はあまり知られていませんが、ヨーロッパでは中世の終わりから 18 世紀後半まで広く演奏されていました。19 世紀になってピアノにその地位をゆずるかたちになりましたが、ヨーローパの伝統と文化を伝える古楽器の、その妙なる響きと調べは、現代でも憩いを求める人々の心に安らぎと慰めを与えてくれています。

チェンバロとの最初の出会いは大学の楽器博物館で、その時チェンバロに興味を持ったものの、大学にチェンバロ科はなく、ピアノの勉強を続けて卒業しました。その後、南米エクアドルで青年海外協力隊員として首都のキト国立音楽院でピアノを教えていたのですが、ある時院長に「ヨーロッパの音楽を演奏するのなら、ぜひいちどヨーロッパへ行きなさい」とすすめられ、任期が終ると間もなくスペインに近い南フランスの地方にある国立音楽院に留学しました。当初はピアノをより深く学ぶための留学でしたが、入学手続きの際、ここに古楽科がある事を知り、即座にチェンバロの先生に直談判。それからピアノとチェンバロの 2 足のわらじをはく日々となりました。



はじめてチェンバロを弾いた時の私の率直な印象は、同じ鍵盤楽器でもピアノとは違って、チェンバロには心の琴線にふれる素朴な響きがあるという驚きでした。もともと構造的にもピアノとは異なり、ピアノは弦をハンマーで打つしくみの「打弦」に対して、チェンバロは弦を小さな爪でギターのようにつまびいて音を出す「撥弦楽器」だったのです。日頃耳にする機会が少ないので変わった感じの音色ですが、音楽的素養がなくても、なんとなく心がいやされ、慰めを受ける音となっているのはそのためでしょう。

チェンバロ曲としては、音楽の歴史や楽器の進化との関係からバロック時代（17 世紀～18 世紀半ば）のものが多いですが、楽器そのものは 15 世紀頃にはすでに存在していました。1710 年に最初のピアノが発明され、チェンバロとピアノの共存時代を経て、チェンバロは音楽様式上の転換から一度は衰退するものの、20 世紀になって当時のモデルを基に復元され、最近ではバロックやルネサンス音楽にとどまらず、現代楽器とコラボさせる新しい音楽の試みがなされています。

私の音楽修業は子供の時から母親にすすめられてはじめたので自分では積極的ではなかったものの、ピアノのレッスン自体は嫌いではありませんでした。そのうち私の演奏を聴いてくださった方々から「気分転換できました」「こころが和みました」「夢が広がりました」などと言われる機会に恵まれ、「私のようなものでも役に立っているのだ。これは母をはじめ、ここまで私を助けて支えてくれた周辺の人々に感謝しなくては」という気持ちが湧いて来たのです。

帰国してからは、演奏活動だけでなく音楽教室での「チェンバロとピアノの指導」に力を注いでおります。教室には「子供さんから 70 代の方まで、初心者から音楽を仕事とする専門家まで」いろいろな人がいます。生徒さんから「先生は生徒に歩み寄ったレッスンをしてくれるのと自分のペースで学ぶ事ができる」「自分のわからない事や知らない事をわかりやすく丁寧に教えてくれる」「昔ピアノを習っていた頃は先生が怖くてストレスだったが、今は楽しく気軽にレッスンを受けられ、わからない事がわかるように、できなかつ事ができるようになって嬉しい」などお褒めの言葉をいただくと、私自身がもっと精進せねばと身の引き締まる思いです。よく周りから「教える事はあなたの天職だ」と言われてきましたが、私自身は生徒さんを通じて音楽だけでなく、人として多くの事を教えてもらえ、お一人お一人にただただ感謝せねばと痛感します。



最後にチェンバロのモデル（型）についてお話をします。モダンピアノ（現代のピアノの事）と違ってチェンバロには規格がなく、おおまかに 7 つのタイプに選別できます。放送では、福岡県の北九州市立響ホールにある「フランスで 18 世紀半ばに発達した二段鍵盤のチェンバロ」についてのお話と音色をお聞きいただきました。ちなみに私が指導している 4ヶ所の音楽教室には、1 台 1 台異なるチェンバロがあります。これらは発生地が違うだけではなく、楽器が使われていた時代、形、鍵盤の数、音色や音響が違います。各楽器の音色をお聴かせできませんが、写真を掲載しておりますのでご参照ください。<http://musique.yoka-yoka.jp/>

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送

淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送

11月07日	南米ながれ旅」レイ・アルフォンソ・正田（3）	11月08日	愛ひとすじに（5）淀橋教会主任牧師 峯野龍弘著
11月14日	西田 和美（1）チェンバロ演奏家	11月15日	愛ひとすじに（6）淀橋教会主任牧師 峯野龍弘著
11月21日	西田 和美（2）チェンバロ演奏家	11月22日	リスナーからの「お便り交換」の時間
11月28日	西田 和美（3）チェンバロ演奏家	11月29日	愛ひとすじに（7）淀橋教会主任牧師 峯野龍弘著

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.org>) のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3 形式）

放送時間：日本時間 午前 7 時半～8 時 17760kHz (再放送) 午後 7 時 55 分～8 時 25 分 15400kHz
(米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信)